

月刊 小林のぶゆき

第5号
2011年6月発行号

見える
わかる
変わる
今こそ横須賀を
私たちのものに

横須賀市議会議員 小林伸行の議会活動報告

無所属35歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
住所 横須賀市野比2-13-18
☎ 070-6640-3927
Fax 046-801-2177
✉ info@kobayashinobuyuki.com ↑
Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。妻と息子の3人家族。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年より横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事務局長など市民活動にも関わる

第一特集

選挙にはいくらお金がかかるのか？
収支報告書ではわからない本当の費用、小林の場合。

第二特集

ママの悩みに、応えます。

- ① 保育園・幼稚園と、小学校のスキマ問題。
- ② DV男から「子ども手当」を取り戻す方法。

次回予告：横須賀市議会 第2回定例会のもようについてお伝えする予定です。

第一特集

選挙にはいくらお金がかかるのか？

収支報告書ではわからない
本当の費用、小林の場合。

選挙の相場は？

選挙には、一体いくらお金がかかるのでしょうか？
選挙区の広い参院選や知事選では数千万～億円、小選挙区制の衆院選で数百～数千円とも言われます。市町村選挙では数十万円～数千円と、選挙スタイルや選挙区の広さや人口などによってかなり幅があるようです。
横須賀市はその点、選挙区も広く、人口も42万人と多いので、お金もかかりがちです。お隣の横浜市は人口370万人で日本最大の都市ですが、政令市なので区分けされ選挙区は各9.5万～33万人。その意味で横須賀市議選は、競争率が高かったこともあり、全国有数のハードな選挙かもしれません。

小林のぶゆきの場合。

その横須賀市で今回、初当選した私の場合、一体いくらかかったのか？ 他の多くの方と同様、私も選挙期間前に1月から3ヶ月間ほど政治活動をしていたので、便宜的にその期間の経費も合計すると、なんと、240万円*もかかっていました！
自分でもビックリしましたが、もっとかけた方も多いようです。

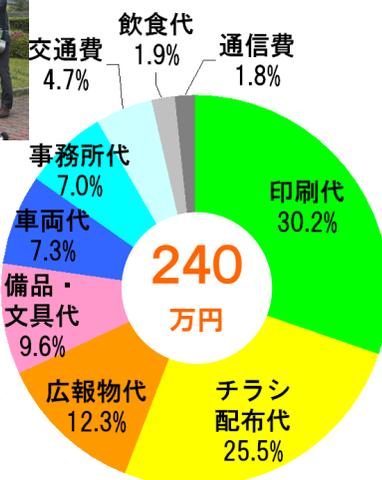
私は住宅ローンが約1100万円残っていて、人生の収支は現在マイナスです(笑)。しかし、主に息子の教育費用として、別に500万円ほど積み立てていました。この貯金を取り崩し、軍資金および落選後の備えとして今回の選挙に臨みました。

選挙費用って「収支報告書」で公開されるんじゃないの？
はい。そうなのですが、「収支報告書」は選挙に直接かかった費用だけが対象です。基本的に、選挙期間7日間にかかった費用と、選挙看板や選挙グッズなどの準備費用しか記載していません。また「選挙カー関連の費用は載せない」「無償ボランティアの労働も金額換算して載せる」「公費負担(市が出してくれた)分のポスター代も載せる」など特殊なので、みなさんが知りたい情報と違うかもしれません

* 公費負担分(ポスター印刷代、選挙期間のレンタカー代)を含まず。独自の集計による。この間の生活費も含みません。



何にお金がかかったのか？



私は、なるべく経費をかけないよう手作り選挙を心掛けたつもりです。看板類もできるだけ手作りし、事務所にFAXもインターネットもひかず、お金のかかる自動車を持たず宅配ピザ用の中古3輪バイクで移動していました。選挙カーも看板を載せずマグネット式ステッカーを貼り付け、スピーカー類は弟の店の物を借りました。

しかし、横須賀市の現状をわかりやすくお伝えするため、チラシにはお金をかけました。計16.5万部カラー印刷し65万円(ただしデザインは自分で組んでるので0円)。次に、そのチラシを配るためのポスティング48万円(家あり職なしの知人と職あり家なしの知人2名に生活再建の願いも込めて依頼)と、新聞折込13万円も、大きな出費です。あとは、事務所が月5万円×3カ月+光熱費で17万円、中古バイク2台で15万円、と続きます。

ただし、これらの費用は人によってはかけなくても何とかなる部分です。240万円から、上記費用を差し引くと、82万円。チラシは誰かの輪転機を借りて刷って、全てボランティアに配布してもらおう。事務所は持

たず、自宅を使う。移動は電車か持っている乗り物で何とかする。これなら80万円前後で戦える、逆に最低その位はかかるのが実感です。

用途	金額	主なもの
印刷代	723,800	チラシ65万、名刺、ハガキ
チラシ配布代	611,802	ポスティング48万、折込13万
広報物代	294,743	選挙看板10万、拡声器8万
備品・文具代	224,143	プリンタ7万、インク3万
車両代	175,205	中古原付2台、レンタカー
事務所代	167,567	家賃5万×3ヶ月、光熱費
交通費	111,734	ガソリン代、電車代
飲食代	44,934	お弁当代、昼食代
通信費	43,277	ケータイ3万、切手1万
合計	2,397,205 円	



イラスト提供 わんぱく
http://kids.wanpaku.com/

① 保育園・幼稚園と、小学校のスキマ問題。



保育園や幼稚園を卒園した子どもは、小学校に入学するまでの継ぎ目の時期、誰が面倒を見るのか？

保育園が預かってくれるのは3月31日まで。4月1日～4月5日(小学校入学式)の期間は、行政のスキマとなっていました。「その間、仕事を休むために、今から有給休暇を貯めている」というお母さんまでいらっしゃいました。

そこで「学童クラブはどうだろう？」と思い、市に問い合わせると「学童クラブは入学式以降が基本だが、民営なので各施設の実情はわからない」とのこと。市ではこの件について調べられないと言うので、学生インターンと2人で手分けして市内の学童クラブ全56施設に電話調査しました。

対応の可否	4/1~4/5	一時預り
●(対応可)	51	18
△(場合による)	0	4
×(対応不可)	5	34

その結果、このスキマを埋めるため、多くの学童クラブが対応下さっていることがわかりました。4月1日～4月5日の預かりが可能なのが51施設。また、学童は通年での利用が基本ですが、18施設は一時預かりも可能とのことでした。保育時間は8:30～17:00程度が一般的ですが、学童クラブによって異なりますし、対応も状況によって変わる可能性があるため、詳細は各クラブに直接お問い合わせください。各学童クラブの対応状況と連絡先をまとめたリストは、<info@kobayashinobuyuki.com>までメールをいただければ返送します(ケータイメールには本文テキストでお送りします)。

ちなみに、この問題に対応していない学童クラブが遅れているわけではありません。どの施設も運営が大変な中、本来は学童クラブの守備範囲ではない部分にも、可能な範囲で対応頂いていることはご理解ください。



また、近所の学童クラブがムリでも、「ファミリーサポートセンター」*を利用する方法もありますので検討してみてください。

*預かってほしい人と、預かってくれる人を結び、市のサービス。事前に会員登録と予約が必要。金額など詳細は046-828-8510まで。

② DV男から「子ども手当」を取り戻す方法。

先日、よこすかひとり親サポートズ ひまわりというNPOの勉強会に参加しました。「ひとり親」には男親も含まれますが、私以外の参加者は全員シングルマザーの方でした。

まず、休日なのに来て下さった市職員から、ひとり親が利用できる市の支援制度を説明してもらいました。次に、テーマごとにグループが分かれ、ひとり親になったばかりの方が「先輩」に相談する場となりました。[ひまわりホームページ http://x49.peps.jp/sukahima/](http://x49.peps.jp/sukahima/)

話を聞いていると、離婚理由がDV(家庭内暴力)ばかりで、その多さに驚きました。また離婚調停に1年以上かかるなど、離婚成立には時間を要するケースも多いことを知りました。

そこで問題になるのが「子ども手当」です。基本的に一番の稼ぎ手(多くの場合は父親)が受取人ですが、別居して離婚調停中の場合、実際に養育しているのは母親なのに振込は父親の口座になってしまいます。父親が「受給事由消滅届」という書類を出せば解消するのですが、子ども1人月額13,000円という高額を手放さない。異口同音にこの悩みを聞きました。

そこで、弁護士や市職員の方々を確認したところ、次の条件が揃えば強制的に父親から受給資格を取り戻せるとのこと。

1. 市にDV相談をし、DV証明を受けていること
2. 健康保険が、夫と母子で別になっていること
3. 横須賀市に住んでいることを証明できること(郵便物など)

DV男に居場所を探されないように、住民票を移していない方でも大丈夫です。また、他県や他市町村に住民票がある方でも大丈夫だそうです。

もし、同じような悩みを持った方がいらっしゃったら、早めに市役所で個別の相談にのってもらうことをお勧めします。ご連絡いただければ、私も同席します。



編集後記 走りながら、模索します。

みなさまの力で議会へ送り出して頂いた4月24日の選挙から、1ヶ月以上が過ぎました。この間、議員としての動き方を模索する日々でした。

まずは、選挙前後を通して頂いてきたみなさまからの要望や疑問への対応に力を注ぎました。その一方、「議員の本来の仕事は陳情対応ではなく議会が発言することではないか」と諭され、当選後初の6月議会でも頑張ってお話を伺い、準備をしてきました。しかしある日、ふと思ったのです。

「自分が議会で質問しようとしているのは、活動をしているポーズじゃないか?」「議員の目的は、市民の願いを実現することであり、議会での質問はあくまで手段。成算もないむやみ質問はただの自己満足じゃないか?」。そこで、6月議会の一般質問では、成算ある問題1つに絞って、他の問題は次回以降取り上げることにしたのですが、その1つも解決したため、結果として本会議では一般質問に立ちませんでした。

迷いも多いのですが、目の前の課題に一つひとつ取り組んで、走りながら模索していこうと考えています。最後に、5月はこの新聞を発行できず、申し訳ありませんでした。



応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めてるのかわかんない……。市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します!

